

一階、於テ初期中期時代の坑夫ト其趣ヲ異ニスル一例ヲ察シ得  
 近坑夫ハ一枚ノ羽織ヲ着ルコトアリシガ今日ハ着伏二期ニハ納屋ニテ  
 リテ毛羽織ヲ着レ儀禮場合ニ羽ニ重紋付羽織ニ袴ヲ着用スルニ至リ  
 言語ノ如クモ野原丸乱暴間クモ甚ヘタル言葉ハ更ニ人トシテ是レ文ナキ  
 正ニ直ニナリ又漢物ノ如キモ初期中期時代ノ御穿履ハ彰々シキ炭  
 坑ノ如ク納屋毎ニ新間雜流ヲ燻積シテ而シテ之ニ着ルニ至リ是レ精神  
 的方面ノ變化モ之ニ伴ナイ者ルナシテアル

斯ル坑夫状態ノ進歩ニテ是レイテ上官トカ資本主ハ知ラズテ坑夫ト云ハ  
 ハ昔ノ徴徴上ノ心内、野原時代ノ對坑夫業ヲ僑僑的ニ唯一ノ信念  
 トシテ此界向上シタル坑夫ニ臨シテ是レカラ兩者ノ間決シテ内訌ガアロウ  
 正ガナイ (雖至ニ坑夫生活快伸、俸給ヲ視致スルモ此等皆世下ノ云々)  
 此度此ノ次ノ好景氣来ラハ亦亦改神者ノ職工等以上ニ大ニ大ニ  
 教養スルコト而シテ資本主ニ暴行ヲ加ヘルハ必然ト被仰シ